

# 令和4年度 市民意識調査

## 市政満足度調査について

### 1 調査の概要

目 的	<p>本市は、平成20年12月にまちづくりの指針となる北九州市基本構想・基本計画「元気発進！北九州」プランを策定し（平成25年12月改訂）、「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を目標に掲げ、その目標を実現するため、「人づくり」、「暮らしづくり」、「産業づくり」、「都市づくり」といった4つの基本方針を定めてまちづくりを進めている。そこで、この4つの基本方針に基づく本市のまちづくりに対する市民の満足度を把握し、今後の施策検討の資料とする。</p>
項 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや教育について</li> <li>・生涯学習について</li> <li>・地域での支え合いについて</li> <li>・安全・安心なまちづくりについて</li> <li>・高齢者の暮らしについて など</li> </ul>
方 法	調査対象者に、選択肢を選んでもらう自記入方式
対 象 者	<p>市内に居住する18歳以上の男女個人 3,000人</p> <p>&lt;標本抽出の方法&gt;</p> <p>令和4年3月31日現在の住民基本台帳（794,649人）を基に等間隔抽出した。</p>
実 施 方 法	郵送調査
時 期	令和4年5月18日 ～ 令和4年6月15日
有 効 回 収 数	1,288 （有効回収率 42.9%）
担 当 課	<p>北九州市広報室広聴課 （582-2527）</p> <p>北九州市企画調整局地方創生SDGs推進部企画課（582-2965）</p>

## 2 回答者の構成

N : 1,288 人

性別	男性	女性	無回答									
	537人 41.7%	728人 56.5%	23人 1.8%									
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答					
	90人 7.0%	115人 8.9%	188人 14.6%	211人 16.4%	251人 19.5%	408人 31.7%	25人 1.9%					
現在地居住年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答			
	9人 0.7%	9人 0.7%	11人 0.9%	16人 1.2%	43人 3.3%	127人 9.9%	160人 12.4%	886人 68.8%	27人 2.1%			
職業	自営業 (除くサービス業)	自営業 (医師・弁護士など)	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)	学生	無職	その他	無回答	
	69人 5.4%	15人 1.2%	363人 28.2%	53人 4.1%	1人 0.1%	184人 14.3%	190人 14.8%	28人 2.2%	290人 22.5%	65人 5.0%	30人 2.3%	
居住区 (地域)	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答				
	143人 11.1%	212人 16.5%	301人 23.4%	127人 9.9%	92人 7.1%	334人 25.9%	79人 6.1%	0人 0.0%				
同居家族	1人暮らし	夫婦のみ	親子 (2世代)	親・子・孫 (3世代)	その他	無回答						
	178人 13.8%	416人 32.3%	547人 42.5%	52人 4.0%	67人 5.2%	28人 2.2%						

## 3 調査結果の概要

### 1 子育てや教育について

■ 「子育てをめぐる環境づくりに対する市民の満足感」は、肯定層(56.6%)が否定層(10.6%)を上回った。否定層の「安心して子育てができるまちだと感じられない主な理由」は、「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」(55.1%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分」(41.2%)、「子育て支援に関する情報が少ない」(34.6%)の順であった。

■ 「子どもの教育をめぐる環境づくりに対する市民の満足感」は、肯定層(46.0%)が否定層(11.6%)を上回った。否定層の「子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない主な理由」は、「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」(40.7%)が最も高く、次いで「子どもが規範意識を身につける機会が不十分」(32.0%)、「家庭や地域の教育力向上に対する取り組みが不十分」(27.3%)の順であった。

### 2 生涯学習について

■ 「生涯学習に関する環境づくりに対する市民の満足感」は、肯定層(38.8%)が否定層(22.3%)を上回った。否定層の「生涯にわたって自由に学び、活動を行う環境が整っていると感じにくい主な理由」は、「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」(58.2%)が最も高く、次いで「自分の興味や関心に合った活動がない」(33.1%)、「活動に参加する機会や時間がない」(32.1%)の順であった。

### 3 地域での支え合いについて

- 「地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感」は、肯定層（42.1%）が否定層（26.1%）を上回った。否定層の「地域での支え合い活動による、暮らし良さが感じられないとする主な理由」は、「地域での支え合いの活動に関する情報が少ない」（52.7%）が最も高く、次いで「地域での支え合いの活動があることを知らない」（50.3%）、「地域での支え合いの活動が活発でない」（26.8%）の順であった。

### 4 安全・安心なまちづくりについて

- 「犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みへの満足感」は、肯定層（58.2%）が否定層（15.7%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない主な理由」は、「市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない」（58.4%）が最も高く、次いで「新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする」（33.2%）、「道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分」（32.7%）の順であった。

### 5 高齢者の暮らしについて

- 「高齢者に対するまちづくりへの市民の満足感」は、肯定層（43.4%）が否定層（19.6%）を上回った。否定層の「高齢者がいきいきと生活していけるまちだと、感じられない主な理由」は、「医療・介護・福祉サービスが不十分」（47.6%）が最も高く、次いで「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」（33.7%）、「健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分」（31.0%）の順であった。

### 6 人にやさしいまちづくりについて

- 「すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちであることの市民の満足感」は、肯定層（33.8%）が否定層（19.2%）を上回った。否定層の「市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない主な理由」は、「年齢や性別、障害の有無、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分」（46.6%）が最も高く、次いで「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」（34.4%）、「だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分」（27.9%）の順であった。

### 7 快適な生活空間について

- 「住みやすい生活環境を有するまちであることへの市民の満足感」は、肯定層（67.4%）が否定層（12.6%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない主な理由」は、「安心して通行できる生活道路が整っていない」（33.3%）が最も高く、次いで「身近な公園が十分に整備されていない」（32.1%）、「地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い」（21.6%）の順であった。

## 8 公共施設について

- 「市内の公共施設の安心、快適な利用に対する市民の満足感」は、肯定層（58.0%）が否定層（16.6%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由」は、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」（31.8%）が最も高く、次いで「危険な箇所・場所がある（急な階段、公園・建物の暗がり、老朽化など）」（26.2%）、「その他」（15.0%）の順であった。

## 9 文化やスポーツについて

- 「文化芸術に親しめるまちであることに対する市民の満足感」は、肯定層（41.4%）が否定層（26.7%）を上回った。否定層の「文化芸術に親しめるまちだと感じられない主な理由」は、「興味のあるイベントが少ない」（55.5%）が最も高く、次いで、「イベントについての情報が少ない」（50.3%）、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」（27.0%）の順であった。
- 「スポーツに親しめるまちであることに対する市民の満足感」は、肯定層（44.4%）が否定層（23.1%）を上回った。否定層の「スポーツに親しめるまちだと感じられない主な理由」は、「興味のあるイベントが少ない」（45.6%）が最も高く、次いで、「イベントについての情報が少ない」（44.6%）、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」（27.9%）の順であった。

## 10 自治会やNPOなどの市民活動について

- 「市民活動に参加しやすい環境にあることへの市民の満足感」は、肯定層（29.3%）が否定層（31.9%）を下回った。否定層の「市民活動への参加のしやすさが感じられない理由」は、「地域とのつき合いが少ない」（36.7%）が最も高く、次いで「市民活動に参加している人が身近にいない」（21.7%）、「地域活動やNPO・ボランティア等に関する情報が少ない」（21.2%）の順であった。

## 11 協働のまちづくりについて

- 「協働によるまちづくりが進められていることへの市民の満足感」は、肯定層（28.5%）が否定層（34.3%）を下回った。否定層の「協働してまちづくりが進んでいると感じられない理由」は、「身近に協働の事例があることを知らない」（62.2%）が最も高く、次いで「市政に関する情報が不十分」（14.9%）、「市民活動に対する支援が不十分」（10.4%）の順であった。

## 12 市民に身近な行政について

- 「市民の意見が、市政に反映されていることへの市民の満足感」は、肯定層（15.7%）が否定層（40.1%）を下回った。否定層の「市民の意見が、市政に反映されていると感じられない主な理由」は、「市政に意見や質問を伝える方法がわからない」（54.1%）が最も高く、次いで「自分の意見が市に届いているという実感がない」（40.1%）、「市政に関する情報発信が不十分」（28.1%）の順であった。

### 13 雇用の機会について

- 「市の人材育成・就業支援は十分であることへの市民の満足感」は、肯定層（19.3%）が否定層（32.1%）を下回った。否定層の「市が取組む人材育成・就業支援が十分と感じられない理由」は、「市による人材育成・就業支援の内容を知らない」（59.9%）が最も高く、次いで「資格取得など能力開発の支援が不十分」（14.5%）、「就業相談の取組みが不十分」（12.1%）の順であった。

### 14 北九州市の魅力について

- 市外からの来訪者に対して、「自慢できるものがある」（43.9%）が「自慢できるものはない」（11.3%）を上回った。

### 15 小倉・黒崎について

- 「小倉都心のにぎわいに対する市民の満足感」は、肯定層（37.4%）が否定層（37.7%）を下回った。否定層の「小倉都心ににぎわいを感じられない主な理由」は、「商業施設の閉店により買い物客が減った」（61.5%）が最も高く、次いで「魅力的な施設、スポットが少ない」（45.1%）、「観光客が少ない」（24.1%）の順であった。
- 一方、「黒崎副都心のにぎわいに対する市民の満足感」は、肯定層（3.6%）が否定層（74.9%）を下回り、否定層が過半数を占めた。否定層の「黒崎副都心ににぎわいを感じられない主な理由」は、「商店街に空き店舗が多い」（65.8%）が最も高く、次いで「人通りが少ない」（48.0%）、「魅力的な施設、スポットが少ない」（37.0%）の順であった。

### 16 交通機能について

- 「市内の車移動での利便性に対する市民の満足感」は、肯定層（58.9%）が否定層（14.4%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「市内の車移動での利便性を感じられない理由」は、「道路の渋滞が多い」（35.1%）が最も高く、次いで「駐車場が少ない」（26.5%）、「その他」（17.3%）の順であった。
- 「市内での公共交通機関での利便性に対する市民の満足感」は、肯定層（52.3%）が否定層（26.6%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「市内の公共交通機関での利便性を感じられない主な理由」は、「列車やバスの本数が少ない」（67.3%）が最も高く、次いで「公共交通機関同士の乗継ぎが不便だ（距離が離れている、待ち時間が長い）」（39.9%）、「駅や停留所が近くにない」（23.6%）の順であった。

#### 17 市民の環境活動について

- 「市民が日ごろからどの程度、環境に配慮した行動をしているか」については、肯定層（62.7%：「積極的にしている」5.4%＋「できる限りやっている」57.3%）が否定層（16.2%：「環境問題に関心はあるが、ほとんどしていない」14.3%＋「環境問題に関心がないので、全くしていない」1.9%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。
- 「市や市民が取り組む環境への配慮行動への市民自身の満足度」は、肯定層（45.0%）が否定層（12.7%）を上回った。

#### 18 自然環境について

- 「自然とふれ合える、身近な自然環境があることへの市民の満足度」は、肯定層（70.8%）が否定層（9.2%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。否定層の「身近な自然環境を感じられない理由」は、「山や海などに行く交通手段が不便だ」（46.6%）が最も高く、次いで「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」（20.3%）の順であった。

#### 19 生活満足度について

- 「北九州市での生活全般について市民の満足度」は、肯定層（77.1%）が否定層（5.7%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。

#### 20 市への愛着について

- 「北九州市に愛着があるか」については、肯定層（84.7%）が否定層（2.7%）を上回り、肯定層が過半数を占めた。

## 4 調査の結果

### (1) 子育てや教育について

#### ① 子育てをめぐる環境づくりに対する満足感

問1

北九州市では、放課後の子どもの居場所づくりや、保育サービスの充実など、安心して子育てができる環境づくりを進めています。

そこで、おたずねします。

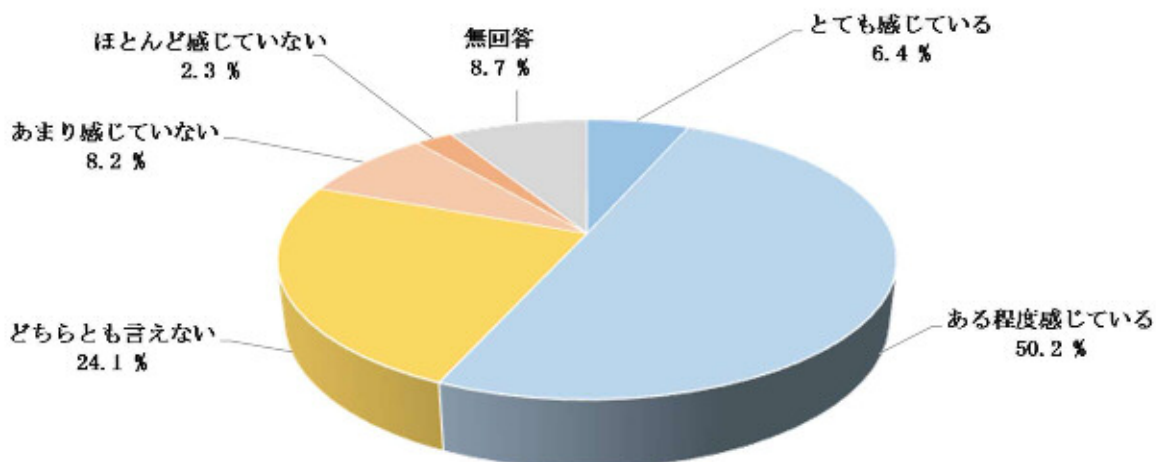
あなたは、北九州市は安心して子育てができるまちだと感じていますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	82	6.4 %
2 ある程度感じている	647	50.2 %
3 どちらとも言えない	311	24.1 %
4 あまり感じていない	106	8.2 %
5 ほとんど感じていない	30	2.3 %
無回答	112	8.7 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	----->	56.6 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(6.4 %) + (50.2 %)
・ 否定層	----->	10.6 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(8.2 %) + (2.3 %)



② 安心して子育てができるまちだと感じられない理由

副問 1 - 1

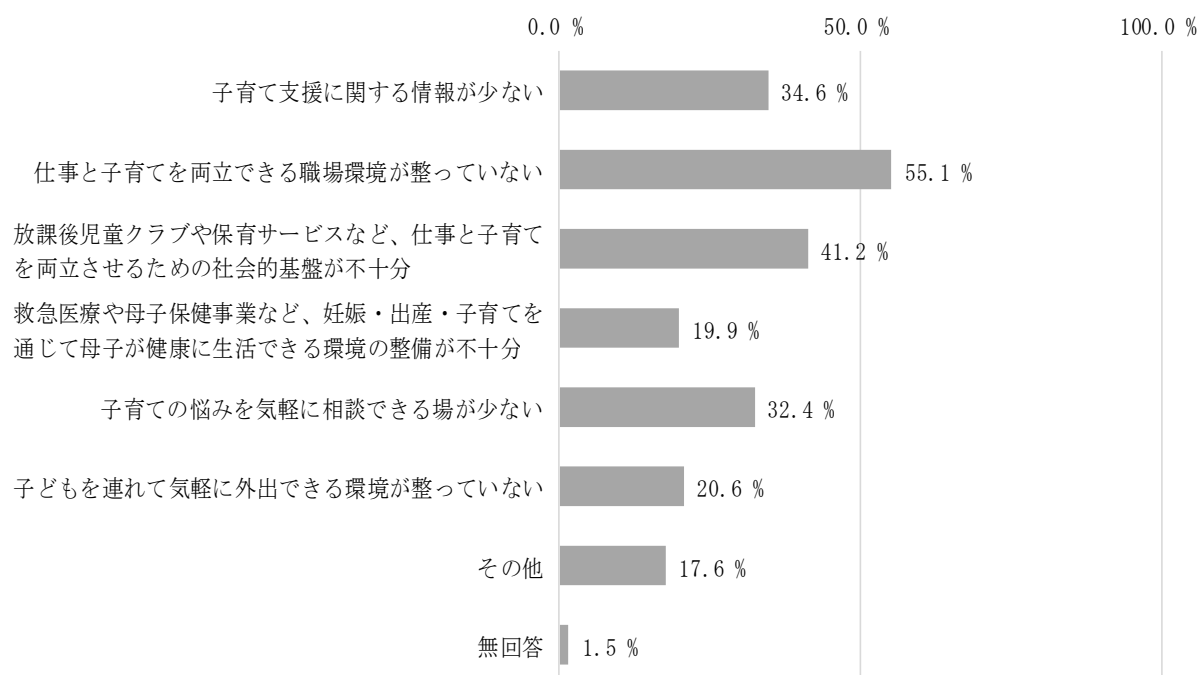
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを3つまで**を選んでください。

N : 136 人

項目	回答数	割合
1 子育て支援に関する情報が少ない	47	34.6 %
2 仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない	75	55.1 %
3 放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分	56	41.2 %
4 救急医療や母子保健事業など、妊娠・出産・子育てを通じて母子が健康に生活できる環境の整備が不十分	27	19.9 %
5 子育ての悩みを気軽に相談できる場が少ない	44	32.4 %
6 子どもを連れて気軽に外出できる環境が整っていない	28	20.6 %
7 その他	24	17.6 %
無回答	2	1.5 %

◇ 感じられない主な理由は、

- 1位** 仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない (55.1 %)
- 2位** 放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分 (41.2 %)
- 3位** 子育て支援に関する情報が少ない (34.6 %)





③ 子どもの教育をめぐる環境づくりへの満足感

問2

北九州市では、家庭・学校・地域が連携しながら、確かな学力と体力を向上させる教育の充実や心の教育の推進、非行から子どもを守る環境づくりなどに取り組んでいます。

そこで、おたずねします。

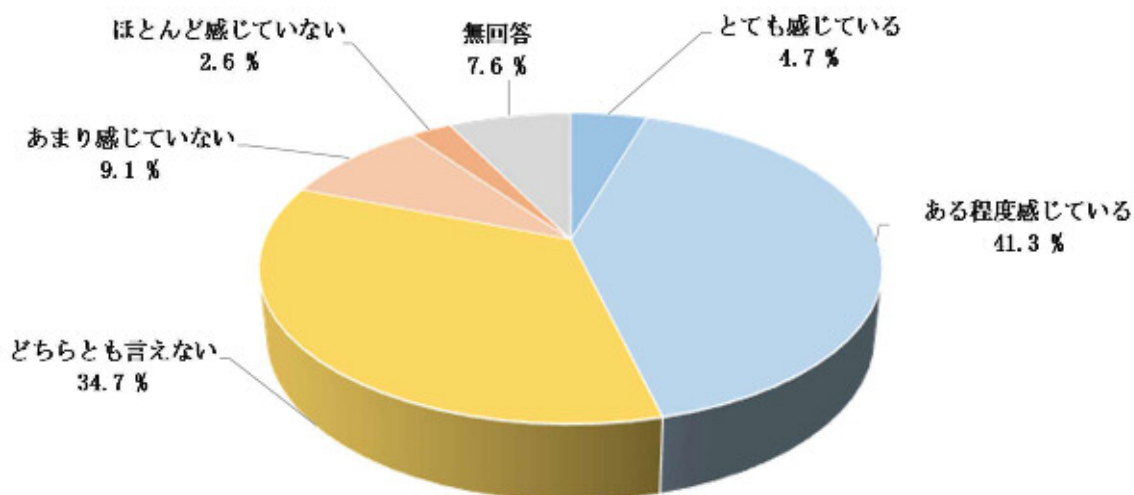
あなたは、北九州市の子どもたちは、いきいきと学び、成長していると感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	61	4.7 %
2 ある程度感じている	532	41.3 %
3 どちらとも言えない	447	34.7 %
4 あまり感じていない	117	9.1 %
5 ほとんど感じていない	33	2.6 %
無回答	98	7.6 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 =====⇒ **46.0 %**  
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」 (4.7 %) + (41.3 %)
- ・ 否定層 =====⇒ **11.6 %**  
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」 (9.1 %) + (2.6 %)



④ 子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない理由

副問 2 - 1

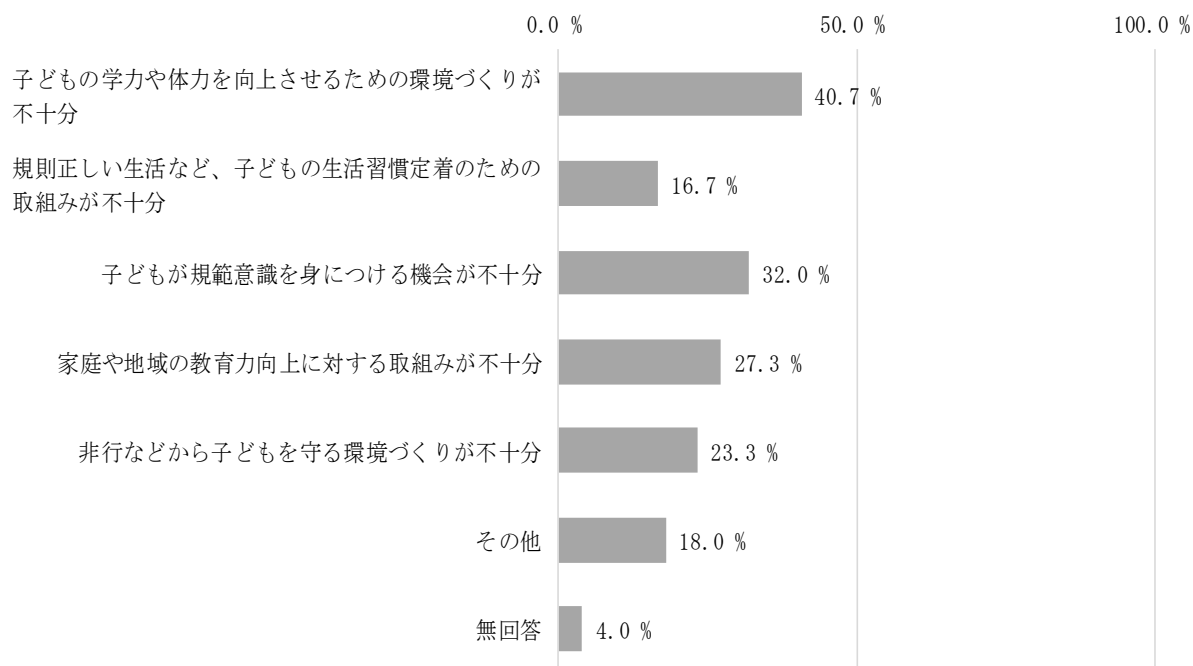
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 150 人

項目	回答数	割合
1 子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分	61	40.7 %
2 規則正しい生活など、子どもの生活習慣定着のための取組みが不十分	25	16.7 %
3 子どもが規範意識を身につける機会が不十分	48	32.0 %
4 家庭や地域の教育力向上に対する取組みが不十分	41	27.3 %
5 非行などから子どもを守る環境づくりが不十分	35	23.3 %
6 その他	27	18.0 %
無回答	6	4.0 %

◇ 感じられない主な理由は、

<b>1位</b> 子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分	(40.7 %)
<b>2位</b> 子どもが規範意識を身につける機会が不十分	(32.0 %)
<b>3位</b> 家庭や地域の教育力向上に対する取組みが不十分	(27.3 %)



## (2) 生涯学習について

### ① 生涯学習に関する環境づくりへの満足感

問3

北九州市では、市民センターや生涯学習（総合）センター、図書館等の生涯学習関連施設において、個人の意欲や能力に応じて学ぶことができる生涯学習の推進や、地域活動を支える人材の育成を図るため、ボランティア活動等に関する講座の実施や情報の提供に取り組んでいます。

そこで、おたずねします。

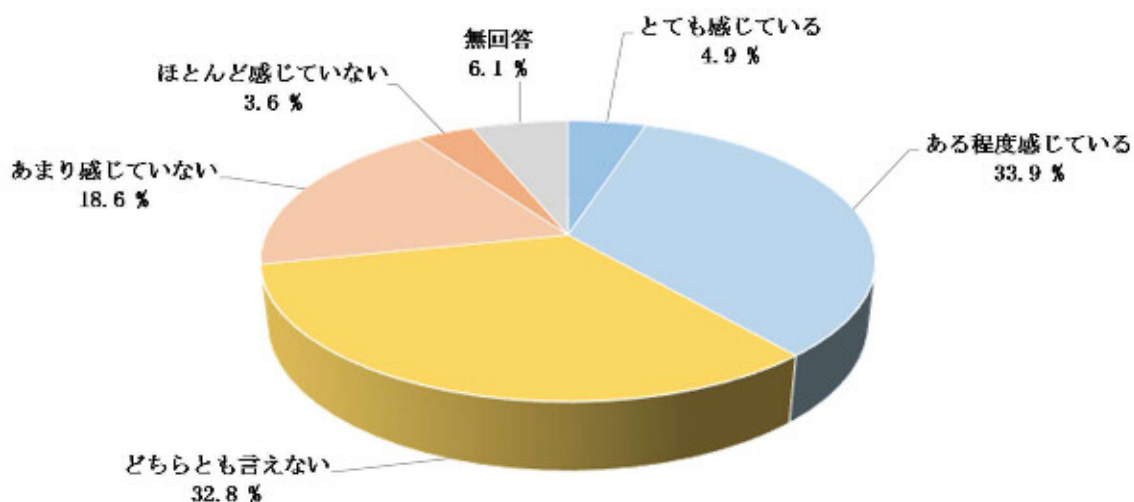
あなたは、北九州市は生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	63	4.9 %
2 ある程度感じている	437	33.9 %
3 どちらとも言えない	423	32.8 %
4 あまり感じていない	240	18.6 %
5 ほとんど感じていない	47	3.6 %
無回答	78	6.1 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	=====→	38.8 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(4.9 %) + (33.9 %)
・ 否定層	-----→	22.3 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(18.6 %) + (3.6 %)



② 生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

副問 3-1

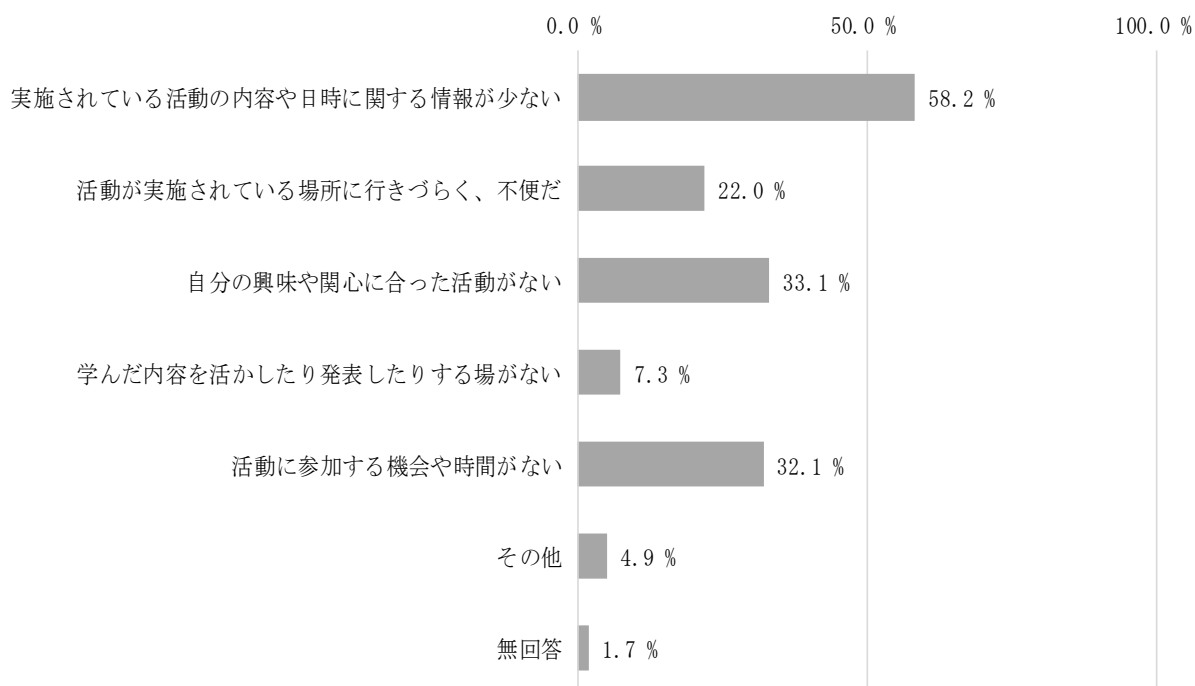
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 287 人

項目	回答数	割合
1 実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない	167	58.2 %
2 活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ	63	22.0 %
3 自分の興味や関心に合った活動がない	95	33.1 %
4 学んだ内容を活かしたり発表したりする場がない	21	7.3 %
5 活動に参加する機会や時間がない	92	32.1 %
6 その他	14	4.9 %
無回答	5	1.7 %

◇ 感じられない主な理由は、

<b>1位</b> 実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない	(58.2 %)
<b>2位</b> 自分の興味や関心に合った活動がない	(33.1 %)
<b>3位</b> 活動に参加する機会や時間がない	(32.1 %)



### (3) 地域での支え合いについて

#### ① 地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感

問 4

北九州市には、民生委員・児童委員による見守りや自治会・町内会によるふれあいや支え合いの活動、老人クラブによる「友愛訪問」など様々な地域を支えるネットワークがあります。これらのネットワークをさらに結びつけることによって地域における見守り支援体制を充実・強化する「いのちをつなぐネットワーク事業」に取り組んでいます。

そこで、おたずねします。

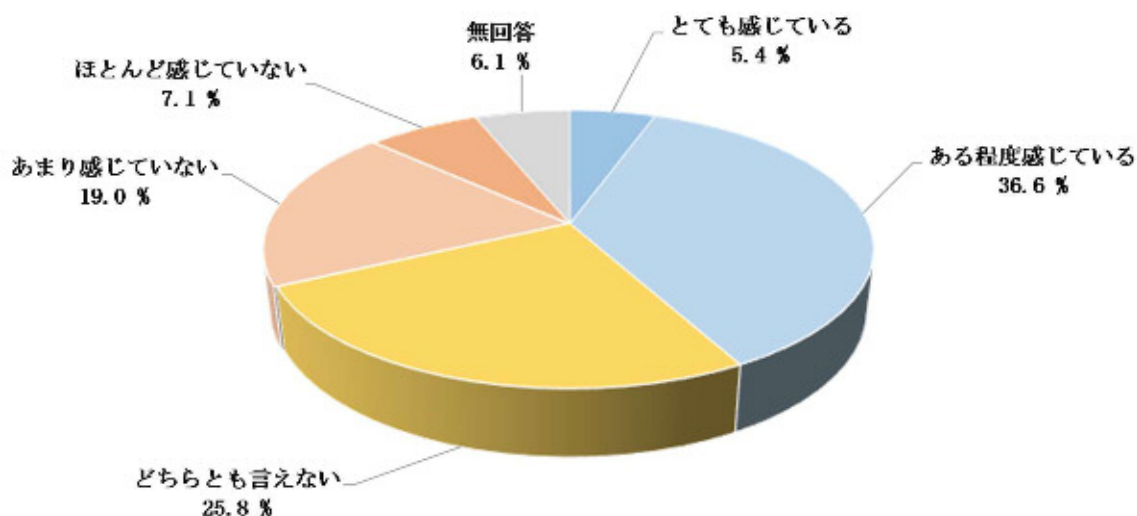
あなたは、地域とのつながりの中で安心して暮らせていると感じますか。

N : 1,288 人

項 目	回答数	割合
1 とても感じている	70	5.4 %
2 ある程度感じている	472	36.6 %
3 どちらとも言えない	332	25.8 %
4 あまり感じていない	245	19.0 %
5 ほとんど感じていない	91	7.1 %
無回答	78	6.1 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	=====>	42.1 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(5.4 %) + (36.6 %)
・ 否定層	----->	26.1 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(19.0 %) + (7.1 %)



② 地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じられない理由

副問 4-1

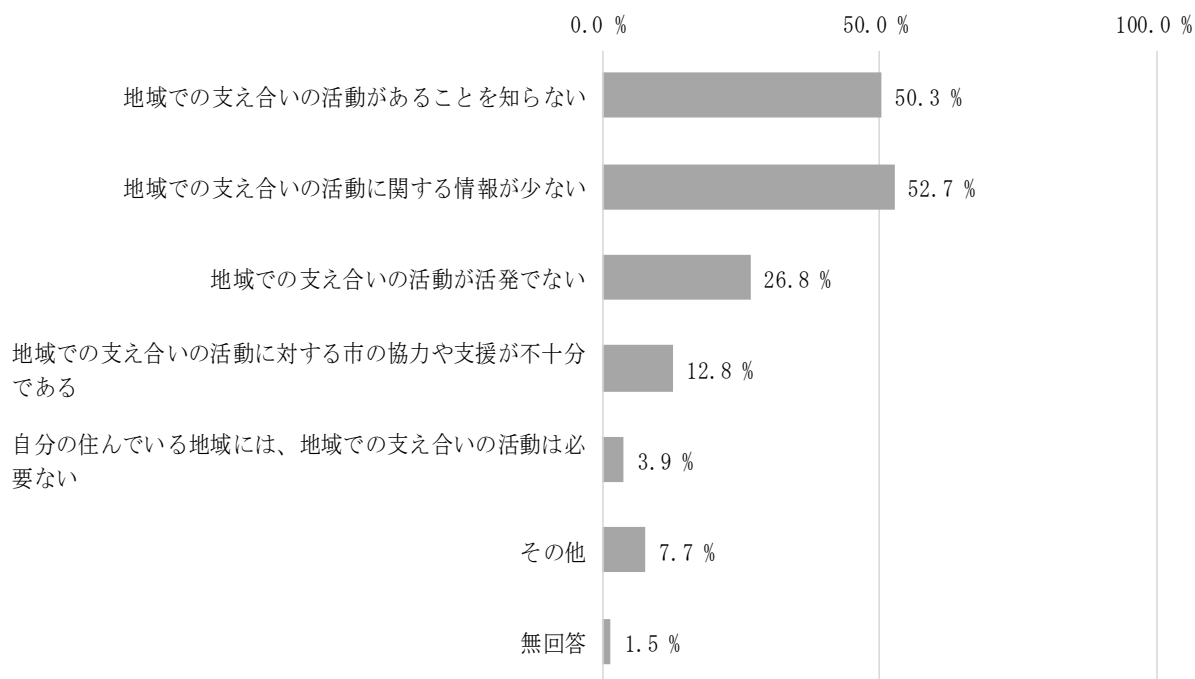
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 336 人

項目	回答数	割合
1 地域での支え合いの活動があることを知らない	169	50.3 %
2 地域での支え合いの活動に関する情報が少ない	177	52.7 %
3 地域での支え合いの活動が活発でない	90	26.8 %
4 地域での支え合いの活動に対する市の協力や支援が不十分である	43	12.8 %
5 自分の住んでいる地域には、地域での支え合いの活動は必要ない	13	3.9 %
6 その他	26	7.7 %
無回答	5	1.5 %

◇ 感じられない主な理由は、

<b>1位</b> 地域での支え合いの活動に関する情報が少ない	(52.7 %)
<b>2位</b> 地域での支え合いの活動があることを知らない	(50.3 %)
<b>3位</b> 地域での支え合いの活動が活発でない	(26.8 %)



#### (4) 安全・安心なまちづくりについて

##### ① 犯罪のない安全・安心なまちづくりの取組みへの満足感

問5

北九州市では、市民と行政が一体となり、地域における防犯対策の推進や防犯活動の活発化を図るなど、安全・安心なまちづくりに向けた取組を積極的に進めています。

そこで、おたずねします。

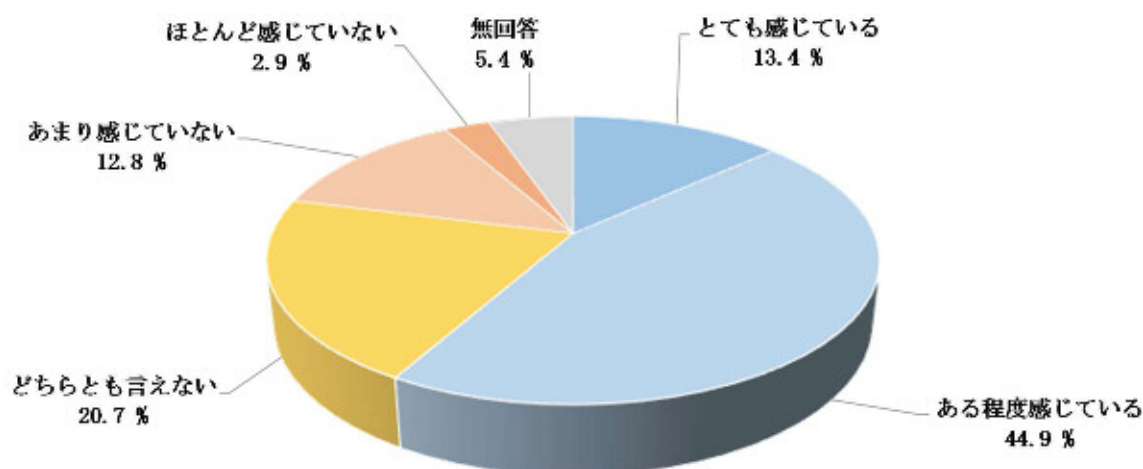
あなたは、北九州市は、犯罪のない安全・安心なまちづくりに向けた取組が、以前と比べて進んでいると感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	172	13.4 %
2 ある程度感じている	578	44.9 %
3 どちらとも言えない	267	20.7 %
4 あまり感じていない	165	12.8 %
5 ほとんど感じていない	37	2.9 %
無回答	69	5.4 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	----->	58.2 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(13.4 %) + (44.9 %)
・ 否定層	=====>	15.7 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(12.8 %) + (2.9 %)



② 犯罪のない安全・安心なまちづくりの取組みが進んでいると感じられない理由

副問 5 - 1

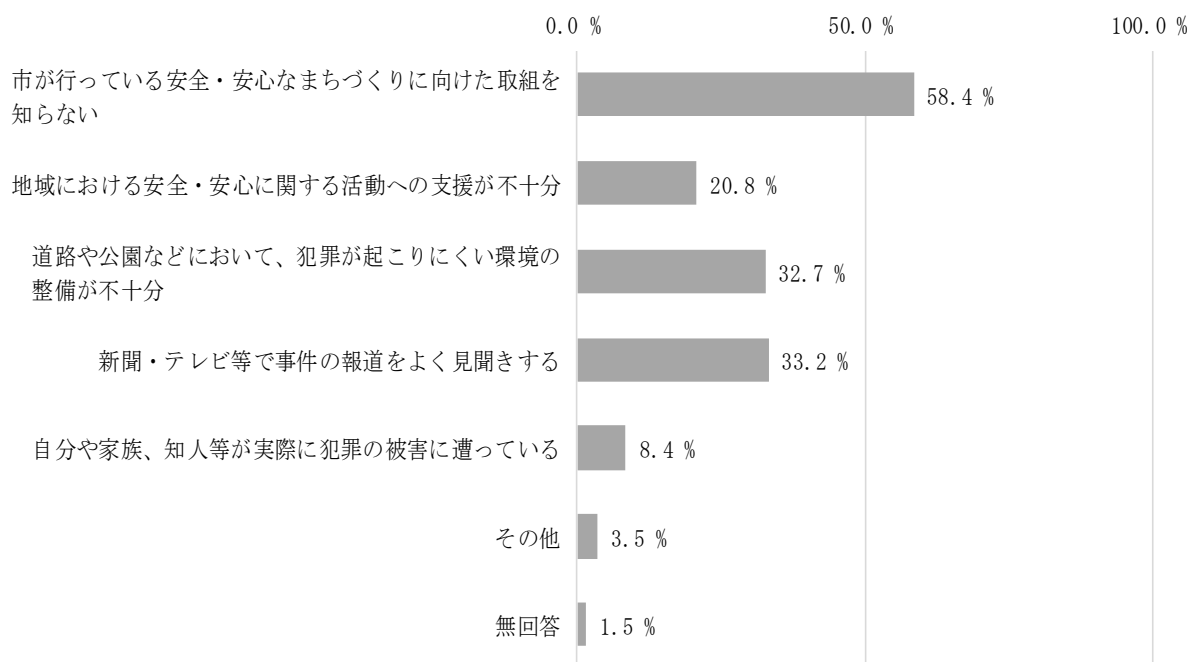
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 202 人

項目	回答数	割合
1 市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない	118	58.4 %
2 地域における安全・安心に関する活動への支援が不十分	42	20.8 %
3 道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分	66	32.7 %
4 新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする	67	33.2 %
5 自分や家族、知人等が実際に犯罪の被害に遭っている	17	8.4 %
6 その他	7	3.5 %
無回答	3	1.5 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位	市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない	(58.4 %)
2位	新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする	(33.2 %)
3位	道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分	(32.7 %)





## (5) 高齢者の暮らしについて

### ① 高齢者に対するまちづくりへの満足感

問6

北九州市では、高齢者がいつまでもいきいきと活躍でき、また介護が必要となっても安心して住み慣れた地域で暮らしていける環境づくりを進めるため、健康づくり・介護予防の推進、生きがいづくりの支援、認知症対策や高齢者の虐待防止・権利擁護の取組の推進、高齢者施設や在宅福祉の充実などに取り組んでいます。

そこで、おたずねします。

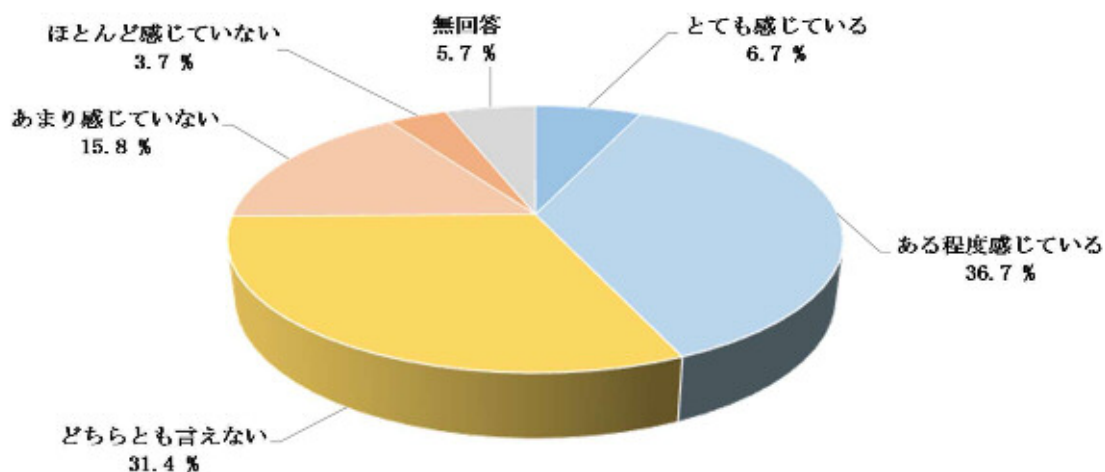
あなたは、北九州市は高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるまちだと感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	86	6.7 %
2 ある程度感じている	473	36.7 %
3 どちらとも言えない	404	31.4 %
4 あまり感じていない	204	15.8 %
5 ほとんど感じていない	48	3.7 %
無回答	73	5.7 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	=====→	43.4 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(6.7 %) + (36.7 %)
・ 否定層	=====→	19.6 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(15.8 %) + (3.7 %)



② 高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

副問6-1

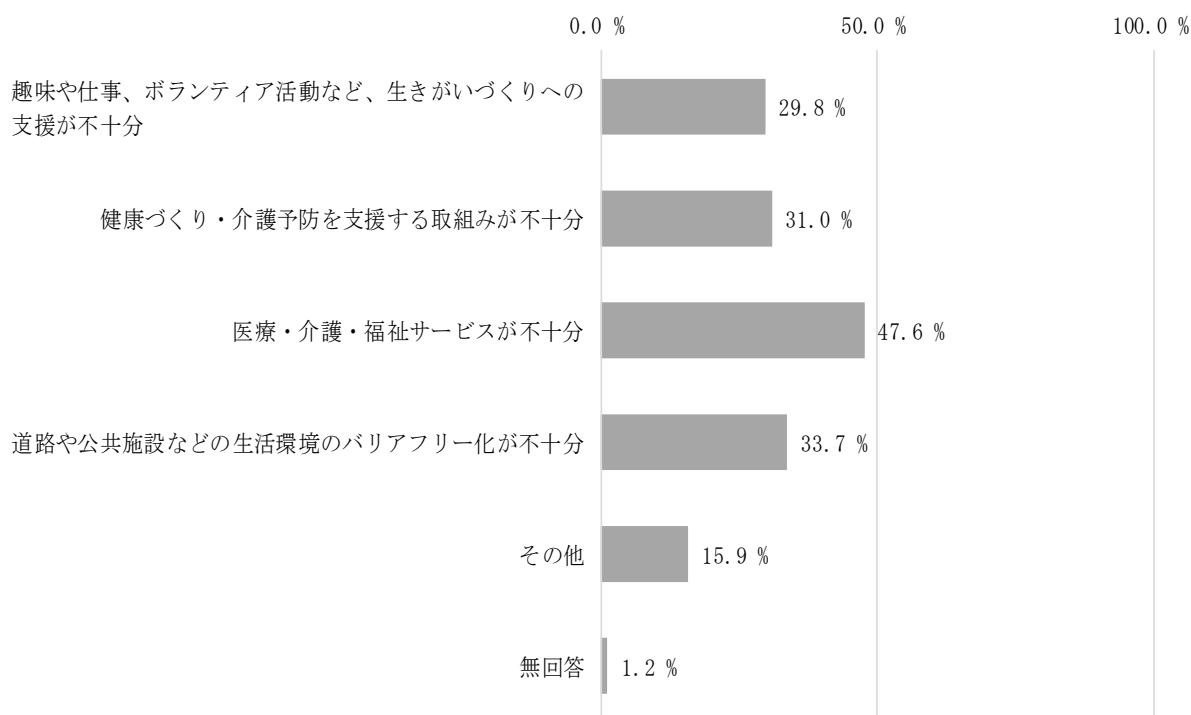
(4もしくは5を選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 252 人

項目	回答数	割合
1 趣味や仕事、ボランティア活動など、生きがいづくりへの支援が不十分	75	29.8 %
2 健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分	78	31.0 %
3 医療・介護・福祉サービスが不十分	120	47.6 %
4 道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	85	33.7 %
5 その他	40	15.9 %
無回答	3	1.2 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位 医療・介護・福祉サービスが不十分	(47.6 %)
2位 道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	(33.7 %)
3位 健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分	(31.0 %)



(6) 人にやさしいまちづくりについて

① すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことへの満足感

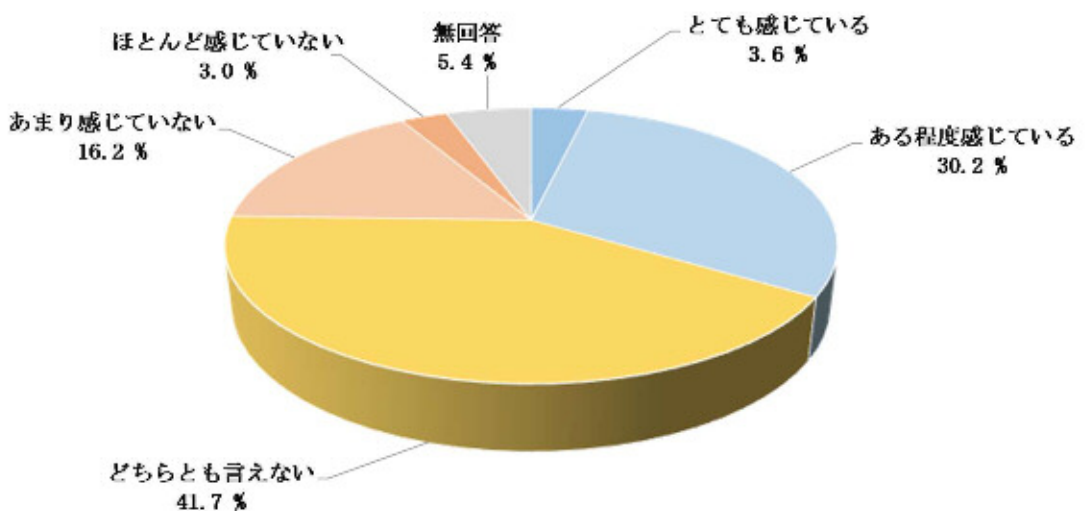
問7  
 北九州市では、すべての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍、社会的身分又は門地などにかかわらず安心して学び、働き、活動できるまちづくりを進めるため、「人権講演会」や「人権の約束事運動」、「男女共同参画の推進」、「多文化共生の推進」などに取り組んでいます。  
 そこで、おたずねします。  
 あなたは、北九州市はすべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるまちだと感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	46	3.6 %
2 ある程度感じている	389	30.2 %
3 どちらとも言えない	537	41.7 %
4 あまり感じていない	209	16.2 %
5 ほとんど感じていない	38	3.0 %
無回答	69	5.4 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 ======> 33.8 %  
 「とても感じている」 + 「ある程度感じている」 (3.6 %) + (30.2 %)
- ・ 否定層 ======> 19.2 %  
 「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」 (16.2 %) + (3.0 %)



② 市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

副問 7-1

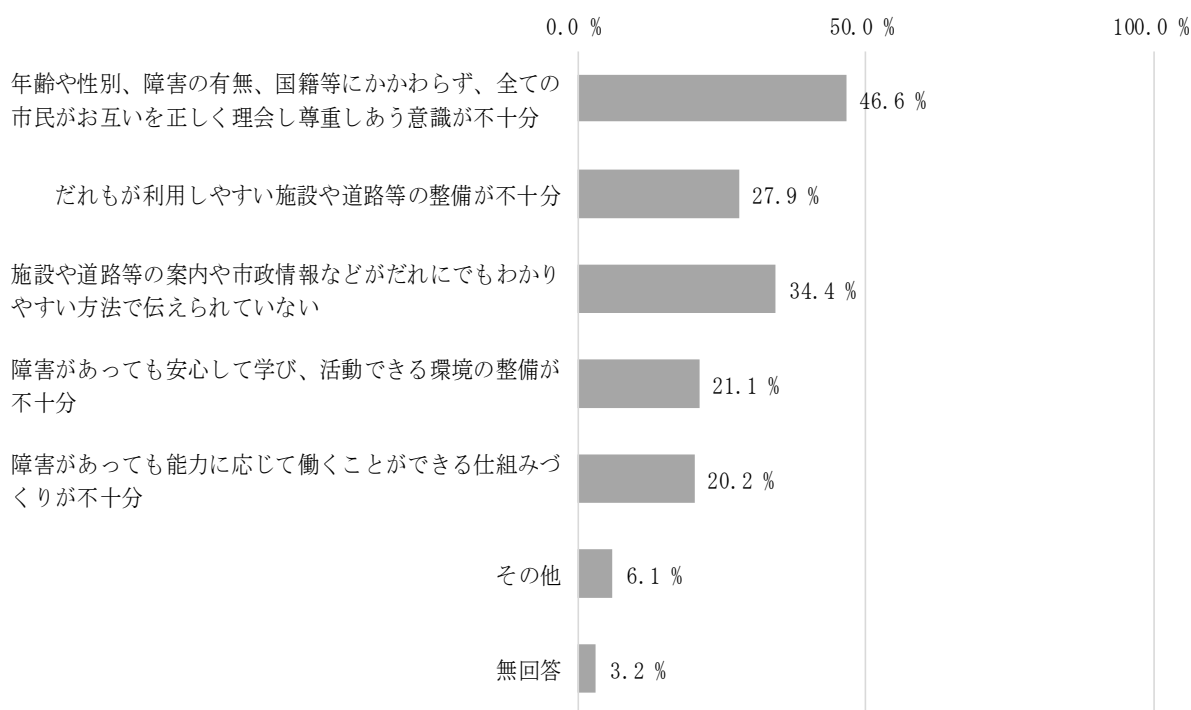
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 247 人

項目	回答数	割合
1 年齢や性別、障害の有無、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理會し尊重しあう意識が不十分	115	46.6 %
2 だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分	69	27.9 %
3 施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない	85	34.4 %
4 障害があっても安心して学び、活動できる環境の整備が不十分	52	21.1 %
5 障害があっても能力に応じて働くことができる仕組みづくりが不十分	50	20.2 %
6 その他	15	6.1 %
無回答	8	3.2 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位	年齢や性別、障害の有無、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理會し尊重しあう意識が不十分.	(46.6 %)
2位	施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない	(34.4 %)
3位	だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分	(27.9 %)



## (7) 快適な生活空間について

### ① 住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感

問 8

北九州市では、市民の意見を取り入れた公園づくりや、安心して通行できる身近な道路の整備、安心しておいしく飲める水の提供など、暮らしやすい環境づくりを進めています。

そこで、おたずねします。

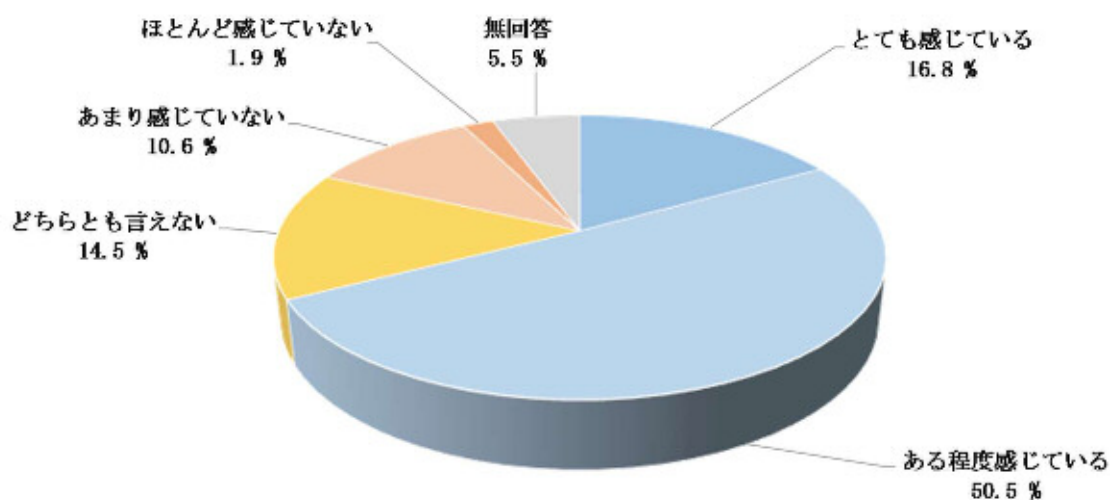
あなたは、北九州市は住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有するまちだと感じますか。

N : 1,288 人

項 目	回答数	割合
1 とても感じている	217	16.8 %
2 ある程度感じている	651	50.5 %
3 どちらとも言えない	187	14.5 %
4 あまり感じていない	137	10.6 %
5 ほとんど感じていない	25	1.9 %
無回答	71	5.5 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	=====→	67.4 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(16.8 %) + (50.5 %)
・ 否定層	=====→	12.6 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(10.6 %) + (1.9 %)



② 住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだと感じられない理由

副問 8-1

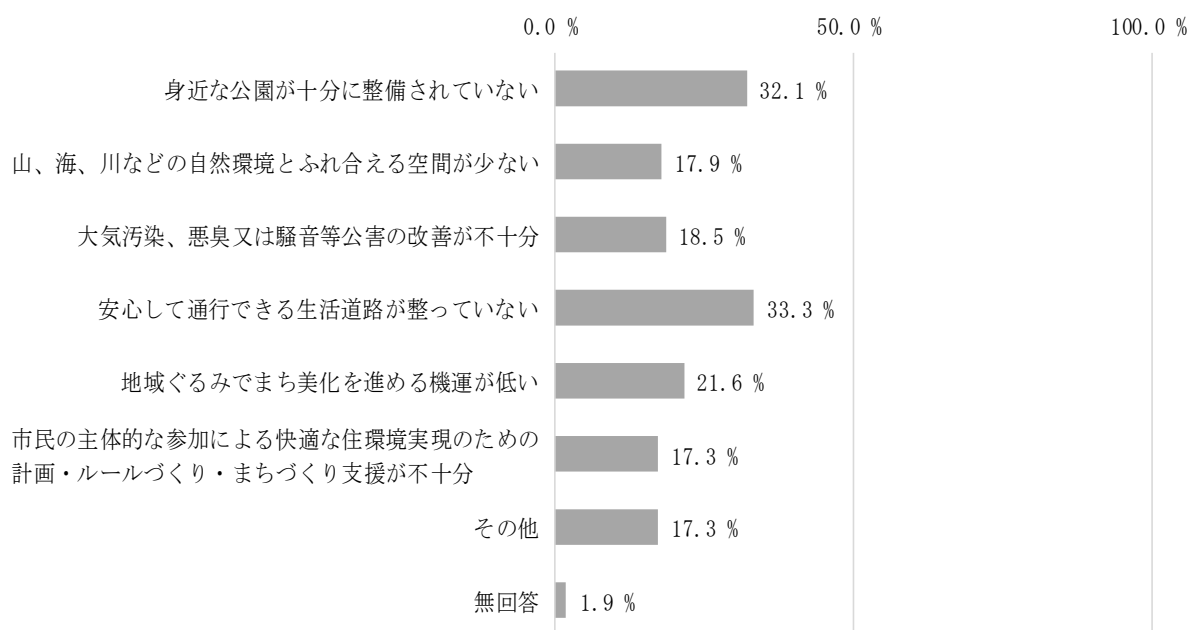
(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 162 人

項目	回答数	割合
1 身近な公園が十分に整備されていない	52	32.1 %
2 山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少ない	29	17.9 %
3 大気汚染、悪臭又は騒音等公害の改善が不十分	30	18.5 %
4 安心して通行できる生活道路が整っていない	54	33.3 %
5 地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	35	21.6 %
6 市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分	28	17.3 %
7 その他	28	17.3 %
無回答	3	1.9 %

◇ 感じられない主な理由は、

<b>1位</b> 安心して通行できる生活道路が整っていない	(33.3 %)
<b>2位</b> 身近な公園が十分に整備されていない	(32.1 %)
<b>3位</b> 地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	(21.6 %)



## (8) 公共施設について

### ① 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感

問9

北九州市では、道路や公園、建物（文化施設や市民センター等）などについて、安全でかつできるだけ長く使えるよう、効率的に維持や管理、補修などを行っています。

そこで、おたずねします。

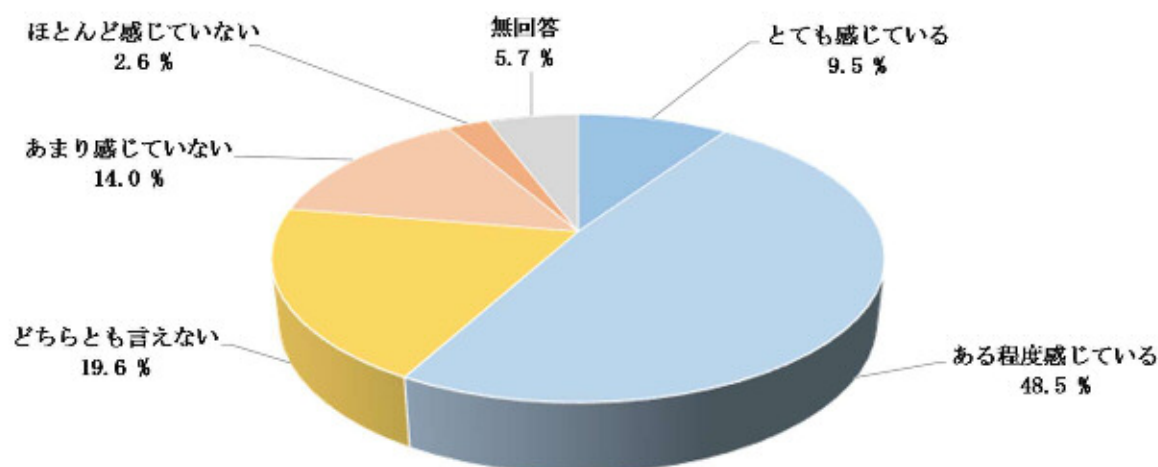
あなたは、道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できると感じますか。

N : 1,288 人

項目	回答数	割合
1 とても感じている	122	9.5 %
2 ある程度感じている	625	48.5 %
3 どちらとも言えない	253	19.6 %
4 あまり感じていない	180	14.0 %
5 ほとんど感じていない	34	2.6 %
無回答	74	5.7 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	----->	58.0 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(9.5 %) + (48.5 %)
・ 否定層	=====>	16.6 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(14.0 %) + (2.6 %)



② 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

副問 9 - 1

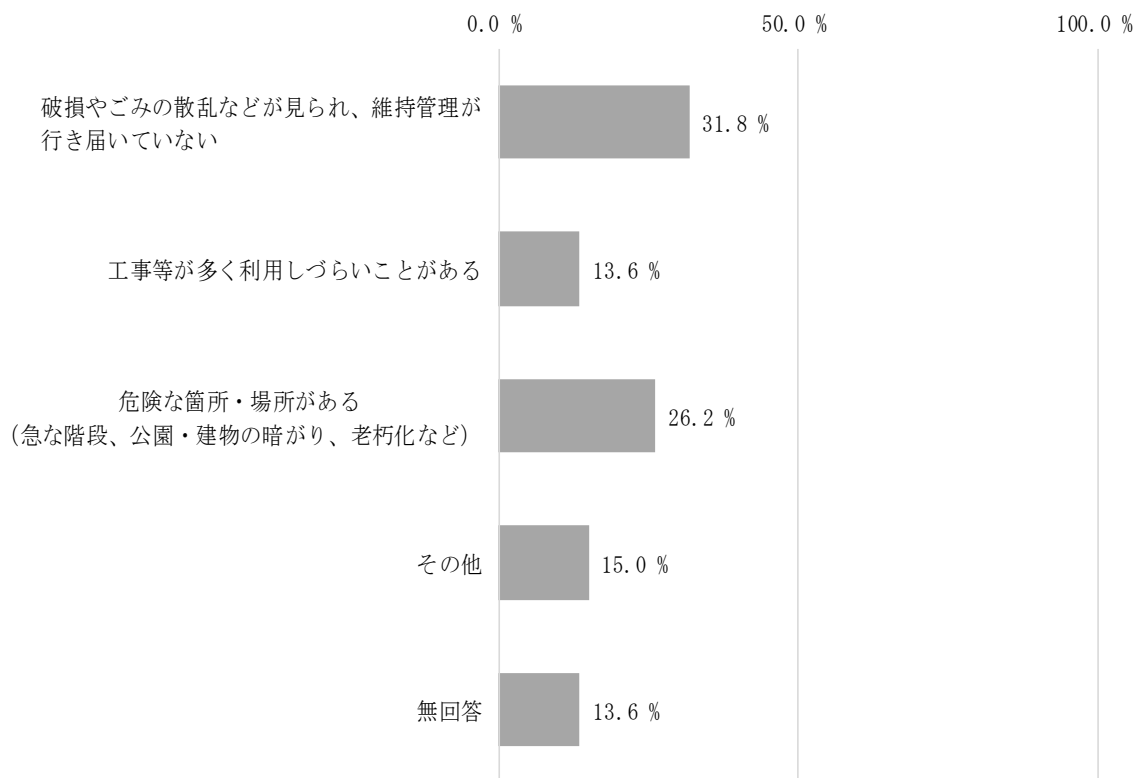
(4 もしくは 5 と選んだ) 理由について、下記から 1 つ選んでください。

N : 214 人

項目	回答数	割合
1 破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない	68	31.8 %
2 工事等が多く利用しづらいことがある	29	13.6 %
3 危険な箇所・場所がある (急な階段、公園・建物の暗がり、老朽化など)	56	26.2 %
4 その他	32	15.0 %
無回答	29	13.6 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位	破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない	(31.8 %)
2位	危険な箇所・場所がある (急な階段、公園・建物の暗がり、老朽化など)	(26.2 %)
3位	その他	(15.0 %)





## (9) 文化やスポーツについて

### ① 文化芸術に親しめるまちであることに対する満足感

問 1 0

北九州市では、音楽、演劇、文学、映画に関するイベントの開催などにより、文化芸術を盛んにする取組みを進めています。

そこで、おたずねします。

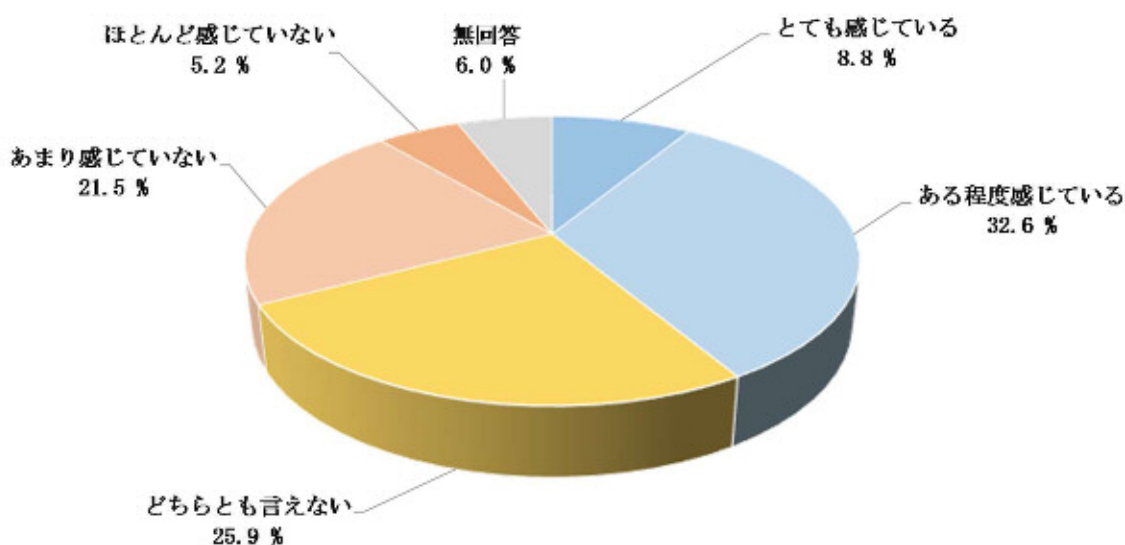
あなたは、北九州市は、文化芸術に親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。

N : 1,288 人

項 目	回答数	割合
1 とても感じている	113	8.8 %
2 ある程度感じている	420	32.6 %
3 どちらとも言えない	334	25.9 %
4 あまり感じていない	277	21.5 %
5 ほとんど感じていない	67	5.2 %
無回答	77	6.0 %

◇ 市民の満足感は、

・ 肯定層	----->	41.4 %
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」		(8.8 %) + (32.6 %)
・ 否定層	=====>	26.7 %
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」		(21.5 %) + (5.2 %)



② 文化芸術に親しめるまちだと感じられない理由

副問 10-1

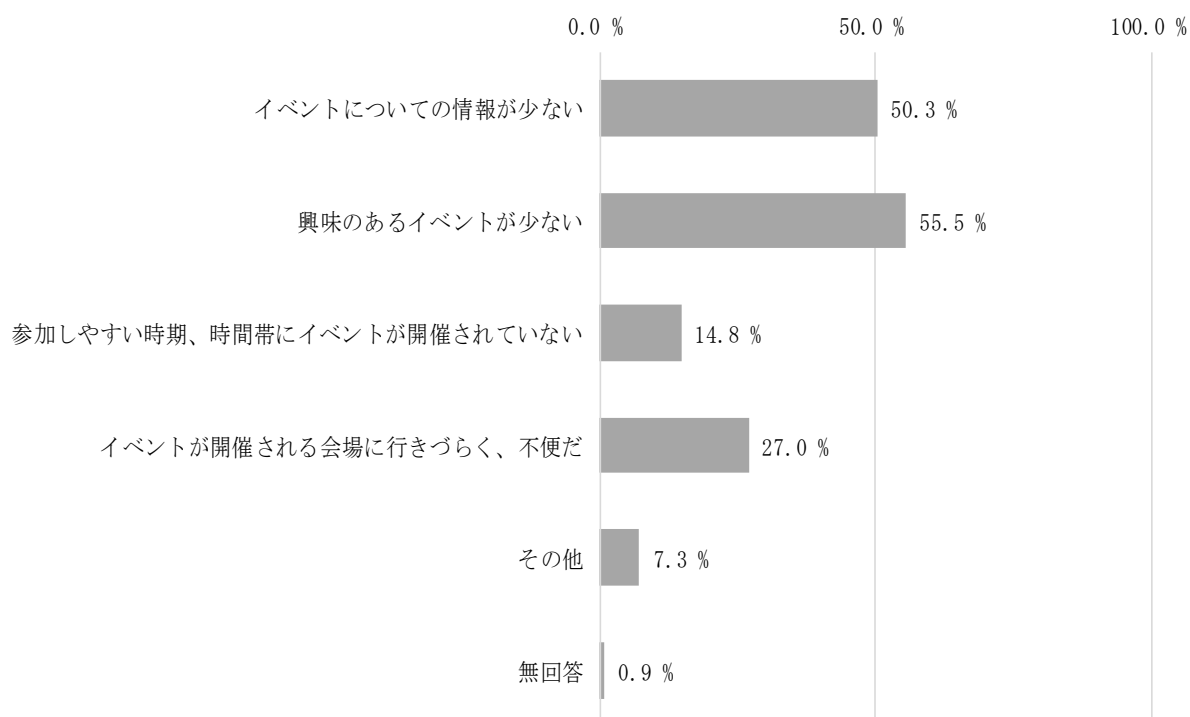
(4もしくは5を選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 344 人

項目	回答数	割合
1 イベントについての情報が少ない	173	50.3 %
2 興味のあるイベントが少ない	191	55.5 %
3 参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	51	14.8 %
4 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	93	27.0 %
5 その他	25	7.3 %
無回答	3	0.9 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位 興味のあるイベントが少ない	(55.5 %)
2位 イベントについての情報が少ない	(50.3 %)
3位 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	(27.0 %)



③ スポーツに親しめるまちであることに対する満足感

問 1 1

北九州市では、北九州スタジアムをはじめ、スポーツ施設の整備やイベントの開催などにより、スポーツを盛んにする取組みを進めています。

そこで、おたずねします。

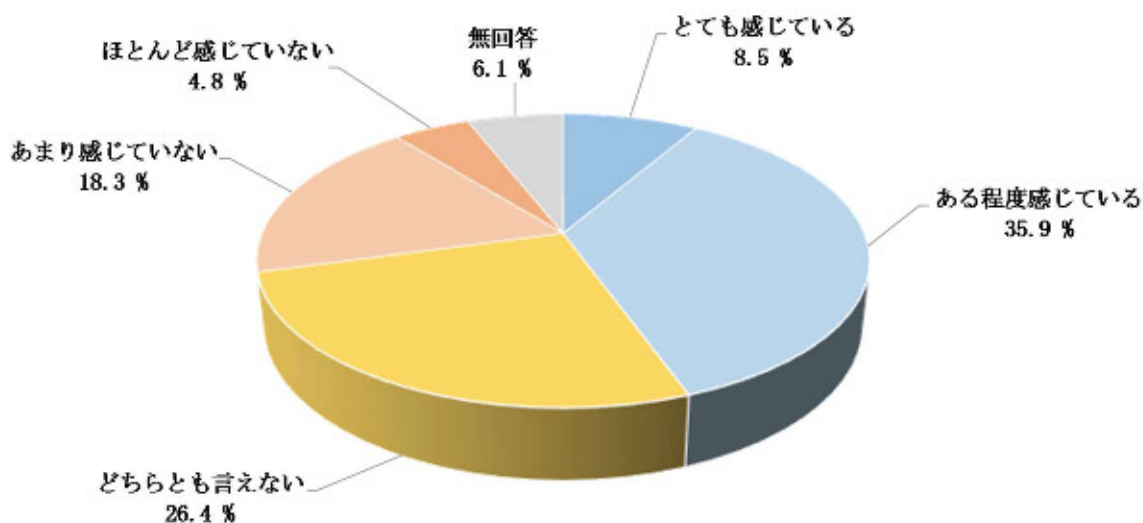
あなたは、北九州市は、スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。

N : 1,288 人

項 目	回答数	割合
1 とても感じている	110	8.5 %
2 ある程度感じている	462	35.9 %
3 どちらとも言えない	340	26.4 %
4 あまり感じていない	236	18.3 %
5 ほとんど感じていない	62	4.8 %
無回答	78	6.1 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 ======> 44.4 %  
「とても感じている」 + 「ある程度感じている」 (8.5 %) + (35.9 %)
- ・ 否定層 ======> 23.1 %  
「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」 (18.3 %) + (4.8 %)



④ スポーツに親しめるまちだと感じられない理由

副問 1 1 - 1

(4もしくは5と選んだ)理由について、下記から**主なものを2つまで**選んでください。

N : 298 人

項目	回答数	割合
1 イベントについての情報が少ない	133	44.6 %
2 興味のあるイベントが少ない	136	45.6 %
3 参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	51	17.1 %
4 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	83	27.9 %
5 その他	29	9.7 %
無回答	3	1.0 %

◇ 感じられない主な理由は、

- 1位 興味のあるイベントが少ない (45.6 %)
- 2位 イベントについての情報が少ない (44.6 %)
- 3位 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ (27.9 %)

